

花きの県別生産出荷概況(3月見通し)

平成30年2月23日現在

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		3月のピーク(%)			主産地
				期間		出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	ha	千本	千本				
トルコギキョウ	群馬	施設(周年)	ロジーナ ボヤージュ バルカン ほか	周年 (6~11月)	6.2 (100)	108 (110)	104 (110)	33	33	33	太田市 館林市
	静岡	施設	ポレロ系 レイナ系 ボヤージュ系 海ほのか	10~6月		350 105%	300 105%	20	40	40	JA大井川 JAハイナン JA静岡市 JA遠州中央
	熊本	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年 11~5月	21 98%	353 105%	194 105%	24%	30%	46%	熊本市 菊池 やつしろ くま など
	大分	施設	レイナラベンダー ボンボヤージュ ボヤージュアプリコット 他	周年 ()	6 (100%)	130 160%	100 145%	40%	30%	40%	杵築 玖珠 竹田
	宮崎		ポレロホワイト 海ほのか グラナスピク エンゲージイエロー	12月~7月 (宮崎) 8月~11月 (椎葉)	3.2	162		20	30	50	宮崎中央 日向
	沖縄	施設	レイナホワイト ポレロホワイト エンゲージブルーピコティ グラナスライトP	12月~5月 (4月)	2 130%	353 120%	230 120%	20	40	40	糸満市 八重瀬町 沖縄市 東村
バラ	茨城	施設	アバランチェ, サムライほか	周年	8.0	400	300	30	35	35	古河市, 石岡 市他
	群馬	施設(周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.8 (100)	679 (105)	484 (105)	25	35	40	前橋市 富岡市
	静岡	施設	サムライ アバランチェ シンディ ベイブ	周年 10~12月 3~5月		1,100 105%	900 105%	40	30	30	JAしみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢前
	愛知	周年	サムライ08 アバランチェ系 ファンシーローラ シンディ フレアー その他	4~3月		3,000 100%	1,600 100%	35	35	30	愛知みなみ ひまわり 西三河
	大分	施設	Mシリーズ Jシリーズ その他各品種	周年 ()	8 (100%)	70 100%	35 100%	25%	45%	30%	玖珠

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	群馬	昨秋の日照不足から8月定植分、9月定植分(2月下旬から出荷ピーク)ともに1~2週間ほど出荷開始が遅れている。そのため、出荷期がずれ込み3月出荷分は平年よりもやや増加する。生育自体は順調で、病害虫等の発生も特に見られない。	現状 国産、台湾産も少ない状況で相場は堅調に推移。旧正月により台湾産の入荷も減り、さらに相場に拍車をかける状況となった。下旬以降には国産、台湾産ともに数量が増え、相場も落ち着きを取り戻した。
	静岡	各産地ようやく数量増加の兆しが見えてきており、急増はないが、3月上中旬までは安定出荷が続く見通し。上位等階級中心。県下で白系品種の比率が4割超となる見込み。3月下旬~4月上旬も引き続き潤沢な出荷が見込まれる。	見通し 第一花き 入荷数・品種も増加し品質も向上、彼岸需要中心の流れで概ね昨年並みの流れ。 大田花き 3月上旬より国産、台湾産ともに増え、相場も落ち着く見込み。中旬以降、彼岸需要、歓送迎需要で相場もまた持ち直してくることが予想される。
	熊本	産地によってバラつきはあるが、生育は概ね3週間程度遅れている。3月になると気温が上昇してくるため、2月出荷予定が3月にずれた分と、元々の3月出荷予定分が重なって出てくる可能性が高いため、数量は昨年より増加する。ピークは3月下旬ごろの見込み。	FAJ 週末婚礼需要から卒業・謝恩会などイベント多く堅調な相場での取引が続く見込み。
	大分	1月・2月の出荷遅れ分が約10万本・3月出荷(春一度切り分)3万本を予定。	東日本板橋花き 引き続き九州・北関東中心の入荷。中旬頃から沖縄・台湾産も含め増えてくる見込み。
	宮崎	低温の影響で、開花揃いが悪く、若干遅れ気味ではあるが、上旬から安定した出荷が見込める。規格については80cm中心で秀品多めの見込みで、ボリュームも良好。	世田谷花き 沖縄からの入荷も本格化し、流通量が増えてくる。 東京フワーポート 沖縄産の作付け増で数量は多くなり、中旬以降近在産地の出荷も始まる。
	沖縄	低温の影響による開花遅れも懸念されるが、3月は概ね計画どおりの出荷が見込まれる。	
	バラ	茨城	全体的には品質に問題はない。
群馬		採花ローテーションの谷となり出荷量は平年よりも少ない状態となっている。ただし、環境制御の効果も見られ萌芽は順調であり、3月は平年並の出荷量を見込んでいる。病害虫等の発生は特に見られない。	見通し 第一花き 入荷状況によるが、年度末需要中心の流れで概ね昨年並みの流れ。
静岡		2月中旬以降気温が上昇し、花の生育も回復傾向にある。立本数は多い状況で、3月上中旬までに数がまとまりピークとなる見通し。SP系品種は3月中下旬にまとまる産地もあるが、全体的にはおおむね3月下旬までには落ち着く。産地によっては3月ピーク後に改植に入るところもある。	大田花き 上旬は昨年並みの入荷量となる見込みだが、中旬から後半にかけ、周期の関係により国産品は減少傾向が見込まれる。輸入品は昨年並みの入荷を見込む。
愛知		・年明けから少ない数量で推移していたが、現在徐々に数量が増加してきている。3月上旬にかけて数量が増加する見込み。今後の天候次第でもあるが、月末はやや少ない出荷となる見込み。 ・病害虫の被害は少なく、上位階級中心の出荷となる見込み。	FAJ 繁忙期に入り取引はさらに活発になる見込み。イベント多く注文主体の取引は継続。 東日本板橋花き 天候の影響で中旬までは品薄感がある入荷量となる見込み。下旬以降は冬休みしていた東北物の入荷が徐々に再開され増加傾向の見込み。販売は卒入学式・歓送迎会等年度末需要で引き合いは強め。
大分		(有)メルヘンローズ中心の出荷。比較的外気温及び天候が安定していれば3月中旬以降順調に出荷を行える予定。問題としてA重油の高騰に伴う現状ハウス内の温度が非常に取れにくい栽培環境。	世田谷花き 気温の上昇と共に出荷もまとまる。年度末の動きに期待。 東京フワーポート 需要期に向け加温して昨年並みの入荷見込み、輸入は新規産地ありで増加予想。

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		3月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
ストック	千葉	施設	カルテットシリーズ アイアンシリーズ	11~4月	40	2,500	1910	40	40	20	館山市、南房 総市、鴨川市
				(2~3月)	(100%)	98%	(100%)				
フリージア	茨城	施設 ほか	アラジン アヌーク ほか	10~4月	5	700	430	35	35	30	かすみがうら 市ほか
				12~3月							

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	千葉	①2月中旬の晴天で生育の遅れを戻しつつあり、3月の出荷量は例年並の見込み。 ②アイアン系、カルテット系が中心。 ③露地ストックは、台風の影響で出荷量は大幅に減少する見込み。品種は、彼岸王、ファミリー・シリーズ。	<p>現状 上中旬は気温が低い日が続き、開花が鈍いため出回り量少なく、単価は堅調に推移した。下旬は安定した販売となった。</p> <p>見通し</p> <p>第一花き 彼岸需要中心の流れで品質格差の単価差は出るが概ね例年並みの流れ</p> <p>大田花き 今後の天候次第で状況は変化するが、気温により数量は増加傾向となる予想。彼岸や送別での需要が中心となる。</p> <p>FAJ 引き続き千葉主体の入荷。需要期に入り堅調な相場での取引が続く見込み。</p> <p>世田谷花き 生育遅れ気味で彼岸までに咲く量はあまり多くない。</p> <p>東京フラワーポート 咲き遅れた分増加傾向となる。</p>
	茨城	出荷量は前年なみかやや減少する見込み。寒さの影響で開花が遅れる見込み。	<p>現状 茨城は出荷が安定し、他品目の品薄もあり、各業種で安定した販売となった。埼玉・静岡は出荷が遅れており、中旬以降に数量増加し、桃の節句に合わせて安定した販売となった。</p> <p>見通し</p> <p>第一花き 品種も増加し、彼岸需要中心の流れで概ね例年並みの流れ</p> <p>大田花き 茨城の入荷は上旬がピークとなり、下旬に向けて減少していく。埼玉・静岡が増加し、中旬頃山形も出荷が始まる見込み。彼岸に引き合いあり、安定した販売となる見込み。</p> <p>FAJ 茨城・大阪・山形・富山などより入荷予定。数量は昨年並みの予定。</p> <p>世田谷花き 茨城、山形などより入荷潤沢。</p> <p>東京フラワーポート 季咲き物が始まり品質、ボリュームの良いものが増加してくる。</p>
フリージア	千葉	①2月中旬の晴天で生育の遅れを戻しつつあり、3月の出荷量は例年並の見込み。 ②アイアン系、カルテット系が中心。 ③露地ストックは、台風の影響で出荷量は大幅に減少する見込み。品種は、彼岸王、ファミリー・シリーズ。	<p>現状 上中旬は気温が低い日が続き、開花が鈍いため出回り量少なく、単価は堅調に推移した。下旬は安定した販売となった。</p> <p>見通し</p> <p>第一花き 彼岸需要中心の流れで品質格差の単価差は出るが概ね例年並みの流れ</p> <p>大田花き 今後の天候次第で状況は変化するが、気温により数量は増加傾向となる予想。彼岸や送別での需要が中心となる。</p> <p>FAJ 引き続き千葉主体の入荷。需要期に入り堅調な相場での取引が続く見込み。</p> <p>世田谷花き 生育遅れ気味で彼岸までに咲く量はあまり多くない。</p> <p>東京フラワーポート 咲き遅れた分増加傾向となる。</p>
	茨城	出荷量は前年なみかやや減少する見込み。寒さの影響で開花が遅れる見込み。	<p>現状 茨城は出荷が安定し、他品目の品薄もあり、各業種で安定した販売となった。埼玉・静岡は出荷が遅れており、中旬以降に数量増加し、桃の節句に合わせて安定した販売となった。</p> <p>見通し</p> <p>第一花き 品種も増加し、彼岸需要中心の流れで概ね例年並みの流れ</p> <p>大田花き 茨城の入荷は上旬がピークとなり、下旬に向けて減少していく。埼玉・静岡が増加し、中旬頃山形も出荷が始まる見込み。彼岸に引き合いあり、安定した販売となる見込み。</p> <p>FAJ 茨城・大阪・山形・富山などより入荷予定。数量は昨年並みの予定。</p> <p>世田谷花き 茨城、山形などより入荷潤沢。</p> <p>東京フラワーポート 季咲き物が始まり品質、ボリュームの良いものが増加してくる。</p>